連載

専門性だけでは生きられない！
技術者に必須の普遍的スキルとは

第12回 技術テーマ立案に不可欠な技術者の「企画力」鍛錬の勘所

FRP Consultant
吉田　州一郎*
www.engineer-development.jp

＊よしだ　しゅういちろう：代表取締役社長。東京工業大学工学部卒業後、Fraunhofer Institute での研修を経て、同大大学院修士課程修了。航空機業界の型式認証取得、海外での量産ライン立上げを技術者として推進。科学誌への Full Paper 掲載など学術業界でも評価を得た一方、後進の指導を通じて活字を基本とした独自の技術者人材育成法を確立。その後、育成対象を技術者に特化した技術者育成研究所を創業。複数業界の企業向けに、技術者の普遍的スキル指導を OJT で行っている。福井大学非常勤講師。

はじめに

本連載ではこれまで技術業界に依存せず、かつ製造業の技術者が有すべき基本スキルである普遍的スキルについて解説してきた。これまで取り上げてきたのは、論理的思考力、技術文章作成力、グローバル技術言語力、そして異業種技術への好奇心である。普遍的スキルで最後に残るのが、今回紹介する企画力である。

企画力という文言については抽象的なイメージでとどまるケースがあることに加え、そもそも技術者の企画力について、スポットライトがあてられることはほとんどないと筆者は感じている。そのため、企画力というとイベントやメディアの番組などを思い浮かべる方々もいるのではないだろうか。

今回は技術者の企画力鍛錬への理解の第一歩として、当該力についてその基本を述べる。

技術テーマ立案の必要条件である企画力

「企画」という言葉の意味を調べると、多くの媒体において計画を立てるという意味で記載されている（**図1**）。これを踏まえると、技術者にとって企画が最も重要になる業務の一つが「技術テーマ立案」だろう。

技術テーマを立案するとする。その立案に至った経緯を背景として述べなくてはいけない。聴く側としては、なぜそのような技術テーマを推進する必要があるのかわからないためだ。さらにはその技術テーマの目的は何で、その目的の達成を目指してどのようなことを行うのかについての説明も不可欠だ。つまり技術テーマの中身に加え、そもそもどのような流れで物事を進めていくのか、という指針が必要となる。言い換えれば、先を見据えて何をやりたいのかという「計画」が重要だ。企画力が技術テーマ立案に必要なのは、このような背景による。ただし、技術テーマ立案において最も重要なのは、そのテーマの目的や、推進の結果得られると期待される成果物という中身であることは言うまでもない。企画力は技術テーマ立案の必要条件であるが、十分条件ではないのだ。

技術者の企画力の主要素は２つ

技術者の企画力は主に2つの要素によって構成される。筆者が技術者を相手に「企画力とはどのような力のことを指すと思うか」と問いかけた際、

図1　企画は計画を立てるという意味で解釈される